

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	発達障害者サポート事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい者については、これまで、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図ってきたが、人材育成の観点から、発達障害者サポーター養成講座、ペアレントトレーニング等を加え、事業拡充を図っています				
	【事業】：発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営 ・個別支援計画の作成 ・発達障がいの理解のための啓発活動及び研修等の実施 ・発達障害者サポーター養成講座の実施 社会福祉法人に委託して実施 4,956千円×1か所/年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	発達障がい児者
意図（どのような状態にしたいか）	乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備をさらに図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
各種相談受付件数	件	454	464	396	650	650
研修等開催回数	回	5	5	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	障害児通所サービス受給者数	人	目標値	680	680	680	680	680
			実績値	1,191	1,235	1,413		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 発達障がい児の早期発見、早期支援に伴い、障害児通所サービス受給者数が見込みを大きく上回った。 （目標達成度）						（達成度） 207.8% 35点	
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）						（達成度）	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,952	7,966	7,953	6,453
（事業費）	[千円]	6,456	6,456	6,456	4,956
（職員人件費）	[千円]	1,496	1,510	1,497	1,497

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

研修会については、会場受講だけでなくオンライン受講やその他の方法により受講できるようにしたことにより、コロナ禍ではあったが受講できる方の数を増やすことができた。
 障害児通所サービス受給者数についても、増加している状況であり、当事者への支援と周囲への理解を広げる活動を継続していきたい。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

発達障がい児者の早期発見、早期支援のため、今後も事業を継続する。

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	補装具費・日常生活用具支給等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者(児)の自立した生活や社会参加を促進するため、障がいにより失われた身体部位や損なわれた身体機能を代償・補完するための補装具を支給します。		
5年度概要	補装具支給費 居住サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	日常生活用具及び補装具を必要とする身体障がい者(児)
意図(どのような状態にしたいか)	失われた身体部位、損なわれた身体機能を代償、補完、及び日常生活の利便性を向上する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補装具支給申請受付人数	人	896	936	980	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	補装具給付件数	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	891	935	972		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 事業の認知度は向上しており、おおむね目標は達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 97.2%
								34点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 給付件数1,000件に対し、972件であり、目標を下回った。 (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[千円]	216,861	214,104	221,702	214,460
(事業費)	[千円]	213,120	210,329	217,960	210,718
(職員人件費)	[千円]	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

用具・装具の助成は日常生活を営む上で不可欠な事業である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

日常生活用具に係る選定や耐用年数の設定等について、調査及び研究を行い、市民の要望及び時代に合った制度に整えていく。

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者相談支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者及びその家族等の不安を解消し、生活の利便を図るため、福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援を行う相談支援体制を整備します。 ・障害者相談員設置事業 ・障害者相談支援強化事業 ・相談支援・充実強化事業		
5年度概要	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託(身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所) 高松圏域自立支援協議会への委託		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	生活の支援を必要とする身体障害者、知的障害者、精神障害者及びこれらの家族で、市内に住所を有する者。
意図(どのような状態にしたいか)	福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援することにより障がい者及びその家族等の不安解消、生活の利便を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
障害者相談支援事業所開所日数	日	3,212	3,090	3,091	3,000	3,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
障害者相談件数	件	目標値	700	1,000	1,000	1,000	700
		実績値	1,227	740	921		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症拡大防止等の影響により外出機会が減少したため、目標値に達しなかった。 (目標達成度)			(達成度) 92.1%	32点			
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 相談件数1,000件に対し、921件であり、目標値を下回った。 (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	99,907	94,851	93,829	94,351
(事業費)	[円]	90,929	85,791	85,597	86,119
(職員人件費)	[円]	8,978	9,060	8,232	8,232

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

障がいに係る専門的な相談窓口は需要は多く、今後も必要な事業である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後、さらに相談支援の充実が必要となってくるため、充実の必要がある。このため、当面の間は、事業者等とも協議しながら、より効果の高い相談体制の構築に努める。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者権利擁護事業		事業期間	平成 20年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 判断能力が不十分な障がい者等の権利擁護を推進するため、法定後見制度である市長による後見等開始審判請求が妥当であるものについて家庭裁判所に審判請求を行うとともに、必要な費用を負担し、後見人等が行った援助活動等に対する報酬支払いができない者に助成を行います。
 また、障がい者の権利擁護のため、障がい者虐待の防止や養護者に対する支援等を行います。

5年度概要
 成年後見人制度利用事業
 障害者虐待防止対策事業
 障害者差別解消推進事業

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市内在住の障がい者等で判断能力が不十分な方
意図（どのような状態にしたいか）	市内在住の障がい者等で、判断能力が不十分な人について、障害者虐待防止法に基づく措置や、成年後見人制度の利用促進を図る等により、権利擁護を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成年後見市長申立件数	件	2	5	7	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成年後見人申立決定人数	人	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	2	3	5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成年後見制度の認知拡大に伴い問合せは増加したが、市長申立件数及び決定人数は、目標数に達しなかった。 (目標達成度)						(達成度) 41.7%	14点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	20,066	16,300	16,436	17,667
（事業費）	[円]	7,347	3,465	3,713	4,944
（職員人件費）	[円]	12,719	12,835	12,723	12,723

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

成年後見制度の認知が進んだことに伴い、問合せは増加し、申立件数及び決定人数も前年度に比べ増加したものの、目標には達しなかった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、法令・要綱に基づき適正に事務を行うとともに、虐待防止・差別解消・成年後見制度の利用促進に努める。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者手帳交付事業		事業期間	平成20年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障害福祉サービス等を提供することにより、自立支援を図るため、障がいのある方からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付を行います。 身体的、地理的条件等により通院することができない在宅の重度の身体障がい者を有する市民に対し、身体障害者手帳交付申請時に必要な審査を行うため、医師の派遣を行います。
-------	---

5年度概要	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査事務費等
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	住民票が高松市内にあり、身体や精神に障がいがある方
意図(どのような状態にしたいか)	身体や精神に障がいを持つ市民に対し、障害者手帳を発行することにより、内容に応じた福祉サービスを受けてもらうことで、障がい者福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
身体障害者手帳交付件数	件	2,056	2,078	1,946	2,200	2,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	サービス提供による決算額	千円	目標値	24,935	66,520	70,251	77,943	77,943
			実績値	22,810	65,605	70,976		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 概ね目標(見込み)値どおりの結果となった。 (目標達成度)							(達成度) 101.0%
								35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[千円]	46,704	94,834	165,851	96,016
(事業費)	[千円]	28,747	76,714	147,889	78,054
(職員人件費)	[千円]	17,957	18,120	17,962	17,962

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

身体障害者福祉法等に基づいて適正に事務を行った結果、概ね目標どおりであった。
--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、身体障害者福祉法等に基づいて市が実施する。

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	福祉用品助成等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本人及び同居する家族を援助し、その精神的・経済的負担等の軽減を図るため、重度の障がい者（児）及び高齢者等に対し、福祉用品の助成を行います。 紙おむつ給付事業 福祉電話等貸与事業 住宅改造助成事業		
5年度概要	紙おむつの給付 福祉電話等貸与		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	紙おむつ、福祉電話、ファクシミリ、住宅改造を必要とする障がい者（児）。
意図（どのような状態にしたいか）	本人及び同居する家族の精神的及び経済的負担等の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
紙おむつ支給申請受付件数	件数	90	80	0	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
紙おむつ支給件数	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	2,405	2,280	2,067		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度より新規受付停止のため、目標値に達しなかった。 (目標達成度)							(達成度) 68.9% 24点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 支給件数3,000件に対し2,067件であり、目標値を下回った。 (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
トータルコスト	[円]	38,459	37,156	32,322	35,994
（事業費）	[円]	28,732	27,341	22,593	26,265
（職員人件費）	[円]	9,727	9,815	9,729	9,729

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	廃止
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和3年度末で紙おむつの新規受付停止及び住宅改造事業を廃止とした。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和2年度から新規受付を停止している福祉電話等貸与に加え、令和4年度からは、紙おむつの給付及び住宅改造の助成についても新規受付を停止した。紙おむつの給付及び住宅改造の助成については、国庫補助事業である日常生活用具給付事業の類似事業との統合を行ったところである。今後とも、時代背景やニーズに応じて事業の創設や改廃を行うなど、柔軟な対応に努める。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者医療費助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減し、障がい者の保健の向上や福祉の増進を図るため、障がい者の医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く。））の全部又は一部を助成します。		
5年度概要	障害者医療費助成事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市に住所があり、身体障害者手帳（1～4級）・療育手帳・戦傷病者手帳（特別～第7項症）のいずれかの手帳を所持し、健康保険証に記載され、生活保護を受けていない人（年齢制限・所得制限あり）。
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の医療費に係る経済的な負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
助成件数	件	304,583	307,688	302,575	298,648	325,472

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	受診率	%	目標値	236.56	223.02	231.52	228.09	227.95
			実績値	228.74	235	237		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 概ね目標を達成した。 (目標達成度)							(達成度) 102.4% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,567,534	1,572,775	1,525,166	1,564,730
（事業費）	[円]	1,537,606	1,542,575	1,495,230	1,534,794
（職員人件費）	[円]	29,928	30,200	29,936	29,936

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルス感染症感染者数の高止まり傾向から受診控えの影響はあるが、おおむね目標値どおりとなった。事業実施上の課題は特にない。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
障がい者の医療費は、より高額になる傾向にあるため、障がい者の負担軽減を目的に、事業を継続する。			

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害児放課後支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい児の健全な育成を図るため、養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても就労等により保護者の監護を受けられない児童に対して、放課後児童会を開設し、監護及び遊びの場を提供します。		
5年度概要	放課後児童会の開設 (2 箇所)		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象 (何を)	養護学校に通う児童
意図 (どのような状態にしたいか)	帰宅しても保護者の就労等のため、その監護を受けられない障害児に対して、適切な遊び及び生活の場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的などのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
放課後児童会開設場所	数	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	放課後支援事業利用日数	日	目標値	281	281	281	281	281
			実績値	281	281	281		
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 100.0%</p> <p>35点</p>						
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (決算)	令和 4年度 (決算)	令和 5年度 (予算)
トータルコスト	[円]	19,188	18,951	19,182	20,768
(事業費)	[円]	18,440	18,196	18,434	20,020
(職員人件費)	[円]	748	755	748	748

【評価】

評価ランク (A ~ D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
身体障害児及び知的障害児に対する放課後児童クラブを運営し、保護者と児童の日常生活の向上に大きく貢献した。			
【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
児童会への入会希望者を受け入れできない状況が一部において生じており、今後、利用定員を増やすかどうかを判断する必要がある。利用者数に応じた予算の調整を行うなど、柔軟な対応に努める。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者福祉施設等整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障害者総合支援法の施行に伴い、障害者の地域移行支援の核となるグループホームで暮らす「住まいの場」の整備等を実施する。		
5年度概要	障害者福祉施設等整備の利子補給		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	障害者福祉施設等を整備する事業者
意図（どのような状態にしたいか）	障害者福祉施設を整備することにより、障害者福祉施設の利用促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
共同生活援助事業所等の補助金交付件数	件	0	0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	共同生活援助事業所の定員数	人	目標値	261	315	331	347	347
	実績値	387	425	496				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 共同生活援助事業所の定員数が、目標値を165人上回る実績となり、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 149.8%
								35点
成果指標	就労継続支援B型の定員数	人	目標値	769	814	838	863	863
	実績値	1,105	1,199	1,234				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 就労継続支援B型の定員数が、目標値を396人上回る実績となり、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 147.3%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,666	7,972	7,918	7,840
（事業費）	[円]	4,184	422	434	356
（職員人件費）	[円]	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

障害者福祉施設の定員数が、障がい者プランの目標値を上回る実績となり、目標を達成できた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

施設の利用状況や国の施設整備補助に関する動向を注視しながら、施設整備の方針を決定していく。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者就労支援促進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行います。
-------	---

5年度概要	空き店舗を活用した「障がい者就労の場」を開設する事業者等への支援（継続店舗 1） 公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援（就労訓練参加事業所 5）
-------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務
--------	----------	---------	--------


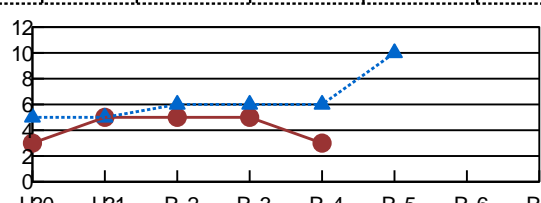

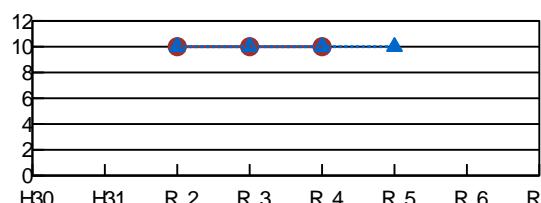
【事業の目的】

対象（何を）	一般就労を目指す障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	一般就労を目指す障がい者の雇用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
「障がい者就労の場」店舗数	店舗	1	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	雇用契約をした障がい者数	人	目標値	6	6	6	10	10
			実績値	5	5	3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 既存の事業者においては、年間を通して継続的な雇用ができたものの、新たな店舗開設はできておらず、目標を達成することができなかった。  (目標達成度)							(達成度) 50.0%
								17点
成果指標	「障がい者就労支援促進事業」における就労者数及び訓練者数	人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、訓練生の受入れについては、リスクもあったが、感染防止対策を行ないつつ、就労訓練を実施することができた。  (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,619	13,664	12,642	12,642
（事業費）	[円]	8,137	6,114	5,158	5,158
（職員人件費）	[円]	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「たかまつ障がい者プラン」において本事業を位置付けて実施しているが、商店街における新たな店舗開設は難しい状況となっている。市役所内就労の場提供事業では、引き続き、障がい者の社会就労支援に詳しいNPO法人に事業を委託することにより、効率的に実施した。また、売り上げの増加により、委託料を縮減することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、更に知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行う。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者地域生活支援推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障がい福祉サービス事業所と連携ネットワークを構築するなど、地域支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供します。				
5年度概要	中核拠点委託料 地域拠点委託料 緊急時受け入れ確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設費一部負担金				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	


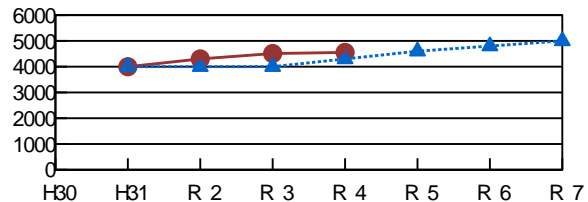

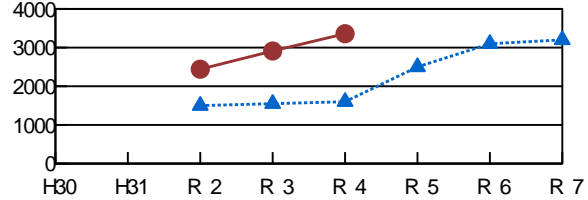
【事業の目的】

対象（何を）	障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できるサービスを提供し、また、合理的配慮の提供に要する費用の一部を助成するなど、地域生活への移行や定着を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
基幹相談支援センター相談件数（中核拠点）	件	232	1,040	1,222	660	660

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	障害者福祉サービス利用者数	人	目標値	4,000	4,000	4,300	4,600	4,600
			実績値	4,301	4,510	4,553		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談支援を通じて適切な障害福祉サービスの利用につなげたことで、福祉サービス利用者数は増加し、目標を達成した。  (目標達成度)							(達成度) 105.9%
								35点
成果指標	基幹相談支援センター相談件数	件	目標値	1,500	1,550	1,600	2,500	2,500
			実績値	2,441	2,912	3,359		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域における相談支援体制の中核的な役割を果たす機関として機能している。  (目標達成度)							(達成度) 209.9%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	123,965	117,938	118,182	118,424
（事業費）	[円]	116,483	110,388	110,698	110,940
（職員人件費）	[円]	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

重層化支援体制整備事業（令和4年度～）の趣旨を踏まえ、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行う。民間事業者に対する合理的配慮提供の義務化に向けて、助成事業を含めた周知啓発に努めている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行う。